

1992-93年度国際ロータリーのテーマ



まことの幸福は人助けから



## Real Happiness is Helping Others

- 国際ロータリー会長 クリフ・ダクターマン ●第2560地区ガバナー 栗山 清
- 会長——内山辰策 ●副会長——上木六治
- 幹事——榎本 勝 ●副幹事——五十嵐総一
- SAA——渋谷正一 ●副SAA——松谷昊吉 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477  
FAX 32-7095

### 出席者会員数

会員 80名中 52名

### 先々週出席率

88.61% (前年同期 93.06%)

### 今日のお花

黄色グラジオラス

### ヴィジター

三条南より 馬場信彦さん、金子武義さん、若林幸哉さん  
新潟西より 小野守通さん

### 先週のメイクアップ

- 6/3 見附へ 金沢興宗さん
- 6/4 新潟東へ 榎本 勝さん、塚田光彦さん
- 6/6 雪国魚沼へ 内山辰策さん、榎本 勝さん
- 6/7 三条南へ 菊池 渉さん、五十嵐晋三さん、渡辺喜彦さん、石橋育於さん、  
林 光輝さん、榎本 勝さん、内山辰策さん
- 6/8 三条北へ 外山一郎さん、斎藤 隆さん、関本哲秀さん、佐藤 武さん、  
日戸平太さん、藤田紘一さん



- 6/11 新潟東へ 渋谷健一さん
- 6/14 三条南へ 五十嵐総一さん、榎本 勝さん、吉井俊介さん、佐久間勝敏さん、加藤征男さん
- 6/15 三条北へ 加藤紋次郎さん、渋谷健一さん、池田千秋さん、高橋政志さん

**会長挨拶** 内山(辰)会長

今日は新潟西クラブ、三条南、三条ローターアクトからお客様をお迎えしております。ありがとうございました。

六日でございますが、「雪国魚沼ロータークラブ」以前は塩沢クラブとっておったのですが、創立三十周年記念がございまして、出席させていただきました。

三十年前といいますと昭和38年、大豪雪の年でありまして、その当時は私もかなり若かったのですが、いつの間にやら老年になってしまいました。

チャーターメンバー22名で発足されまして、現在が27名だそうです。どう考えてもおかしいなあという感じを受けたのですが、いろいろお話を聞いておきますと、地区は六日町、塩沢、大和町、そして湯沢の広域圏になっておりまして、当時はデコボコ道で、砂利道で、例会に行くにもメイクアップするにも大変だったということで、大変苦勞されたそうです。そのうち段々会員が減りまして、もう風前の灯火になったそうです。それを先輩の皆さんが「ロータリーの火を消すな」ということで、一生懸命になられて、現在が27名だそうです。

湯沢、塩沢は新潟県ではないような、大都会のような感じがするのですが、ロータリーの現状はそういうふうだそうです。しかし現在、青年会議所の方が中心になりまして、若い方が入会されており、今後活発になるのではないかなあという感じを受けております。この4町の人口が7万8千人だそうですから、ガバナーの強い意向もありまして、やりよるによっては、これから大いに期待できるのではないのでしょうか。

七日には「三条南クラブ」の二五周年に、幹事と共に招待を受けてまいりました。津軽三味線の演奏を聴いてまいりました。楽しい一時を持たせていただきました。

亡くなられた伊藤さんのところから、「これからもお願い致します」というお手紙がまいております。

米山ファンドフェローのメダルが届いております。岩井会員、五十嵐(総)会員。おめでとうございます。

**幹事報告** 榎本幹事

◎例会変更のお知らせ!

燕RC——6月24日(木) 会長、幹事慰労会 PM6:30~ 於 はてる大橋

三条南RC——6月28日(月) 会長、幹事慰労会 PM6:30~ 於 魚 作

三条北RC——6月29日(火) 会長、幹事慰労会 PM6:30~ 於 さどや

◎三条市ふるさと運動推進協議会より平成5年度定時総会のご案内がとどいております。

と き 6月25日(金) PM5:00~

ところ 二洲楼

◎巻ロータリークラブ1993~94年度 第4分区 会長、幹事会のご案内がとどいております。

と き 7月5日(月) PM5:45~

ところ 割烹魚政(巻町)

**ニコニコBOX ¥17,000**

6月16日分

原田裕子さん、兵 知子さん(三条ローターアクトクラブ)

いつもご指導いただき、ありがとうございます。お昼ごはんごちそうさまでした。おいしく頂きました。会員増強にご協力お願い致します。

上 木 さ ん 家庭会合で皆さんから色々参考になるご意見を聞き有難うございました。松木屋、二洲楼、VIPさん大変お世話になりました。

小林(英)さん 4月14日新潟がんセンターで手術を受けました。その後順調で大体80%回復です。内山会長さんはじめ大勢の方からご心配賜りました。心からお礼申し上げます。

菊 池 さ ん 内山年度、二度めの卓話をいたします。

木 許 さ ん 本日早退させていただきます。

小 柳 さ ん 今日は途中退席させていただきますので。

内山(辰)さん 今日健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。

**三条ローターアクトクラブより**

三条RAC 原田裕子さん、兵 知子さん

アクトクラブに入会し、一まわりも二まわりも大人になりました。アクトに入会し本当によかったと痛感しています。

事業所やお知り合いで将来有望と思われる方が、いらっしゃいましたらアクトへの入会をおすすめ下さい。強制ではなく、自主的に入会して下さい方を募集しています。

只今、三条RACは会員16名(男性12名、女





性4名)で運営されています。

三条RACに入会される方に2つのお願いがあります。

1. 例会は、木曜日・PM7:30から始まります。

この時間に間に合い、約3時間、時間をつくって下さい。

2. いやでもつまらなくとも、一年間は例会にいて下さい。

## 卓 話

菊池 渉会員

内山年度二度目の卓話でございます。先回は、仏教のお話をさせていただき、自戒を含めまして、「怒っても良い、むさぼっても良い。ただ驕るなかれ」ということでお話申し上げたやと思います。

私、来年度、国際奉仕の青少年交換委員会の委員を任せられまして、捧国際奉仕委員長川又青少年交換委員長の下で働かせて頂くことになりました。既に、交換学生の受入が来月に迫っておることから、何回か会議が持たれて打ち合わせが始まっておるのですが、異文化の異宗教の青年を迎えいとのこと、例えば、私なら、仏教というものを彼にどう説明したら良いかなどと考えてみました。



そんなことで一つ思い出した事がございます。一昨年でしたか、アメリカ人の青年に仏教の話をする機会がございました。私たちは、それこそ仏教やお寺には縁が薄いと思っておりましたが、それでも日本で生まれて日本で育った日本人です。教わった覚えはなくても、何となく「こんなものかなあ」という感じはもっております。しかし異国の青年に、日本の文化、ましてや仏教の話をと云われて、当惑いたしました。

アメリカの青年ならずとも、仏教といったら「お釈迦さま」、こう思われていることでしょう。が、少なくとも浄土真宗のお寺には、お釈迦さまはおられません。お御堂の中には「阿弥陀さま」がおられます。

このお釈迦さまと阿弥陀さまの関係がなかなか解らない。一般に教えられているところだと、歴史上に実在した人物たるお釈迦さまが、いろいろなお経の中で「仏さま」のことをお説きになった。その一つが阿弥陀さまであり、薬師さまであり、大日如来…である。

お釈迦さま>阿弥陀さま

こういう図式です。しかし違うんですね。

お釈迦さまという方は、ご存知の通り、今から2,600年くらい前に北インドに、一国の皇太子としてお生まれになられました。富みも地位もあり、我々からすれば、何不自由のないご身分であられたのですが、「人間に生まれてきた意義はこれではない」と、国を捨

て、身分を捨て、父母妻子をも捨て、出家仏道を歩まれました。

人の勧めめることは何でもやりました。人間にできる修行は何でもやりました。先生といわれる人にも師事し、その先生たちをも超える学問を身につけました。しかし求めている悟りには至りませんでした。

師匠は「お前に教えることはもうない」という、人は「素晴らしい」という、しかし、自分では求めているものには遠く及ばない。お釈迦さまは焦りました。悩みに悩み、やがて全てに絶望してしまわれました。

人生に絶望したお釈迦さまは入水自殺を試みられました。尼連禅河と呼ばれる川に身を流された。その時、自分では、自分の意識では「死んでしまおう」と思っておったけれども、自分の意識を超えた「いのち」が、今日の言葉でいえば深層心理とでもいうんでしょうか、自分を超えた「いのち」が、小枝に手をさし伸ばされた。それに捕まり岸辺に這い上がり、菩提樹の樹の下で結跏趺座、禅宗の坊さんの座るお姿ですね、そのまま七日目の明け方お悟りを得られたのでした。

この自分を超えた「おもい」、自分の意識を超えた「いのち」の名を、アミダというのです。アミダの「ア」は否定の言葉です。「ミタ」というのは「量る」という意味です。ですからアミダというのは「無量」と訳されております。「量れない」という言葉です。人間の知恵を超えた「いのち」の名前なのです。ですから、

お釈迦さま<阿弥陀さま

こういう図式になるんです。

アミダは、お釈迦さまだけでなく、私たち全てのものに流れている名前です。しかしこれがなかなか私たちには実感出来ない。けれど何かの機会に私たちにも経験することが出来るのです。

何となれば、私は自分が可愛い、自分が可愛いだけで生きてきた。自分の都合のいい方得になる方にしか身も心も動かない。しかしそんな自分勝手な私に、「待てよ」、「これでいいのか」という、自分からは出てくるはずのない「おもい」が、胸の奥から突き上げてくることもある。無頼漢の私が感動することもある。涙が流れることがある。これが、自分を超えた思い、アミダなんですね。仏の声なんです。

ロータリーの活動も、奉仕の精神も、そんな声に促されているのでしょう。皆様も、何かの機会に「自分を超えたおもい」に出会われた時、感動された時、涙が流れ出した時、ああこれが菊池の言っていた「アミダ」なのか、と思っていれば幸いです。

ですから仏教というのは、学ぶ必要がない。ただ自分を磨けば良い。これだけでございます。ありがとうございました。



... (faint text) ...

... (faint text) ...

... (faint text) ...

... (faint text) ...

---

6月23日例会	卓話 高森章仁会員、船越正夫会員
<hr/>	
6月30日例会	会長、幹事慰労会 PM6:30~ 於 二洲楼
<hr/>	
7月7日例会	クラブアッセンブリー

---